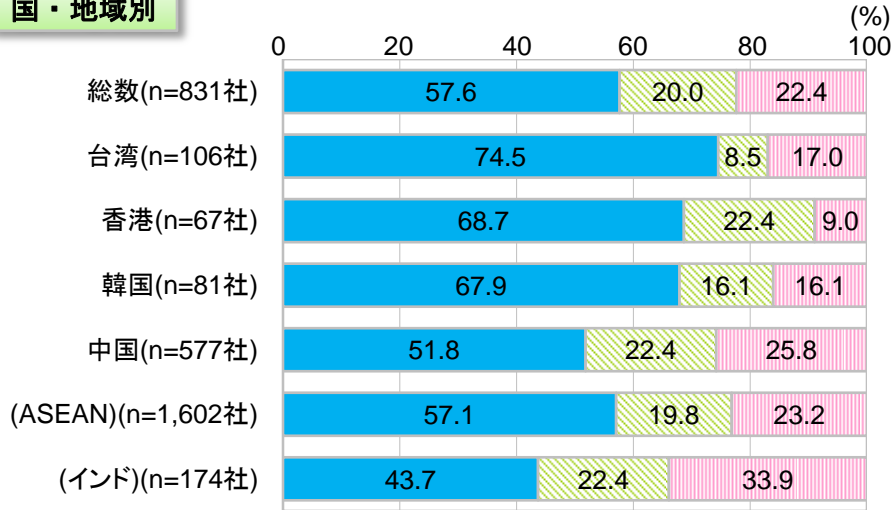


# 1. 営業利益(1)

## 09年営業利益見通し(国・地域別、設立年別)

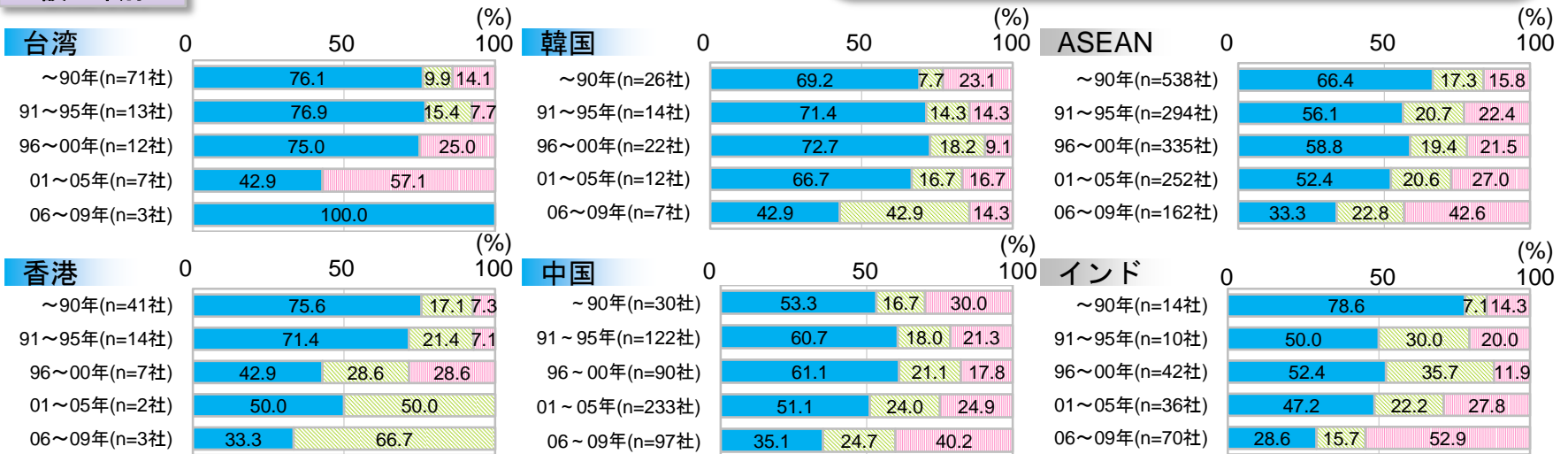
■ 黒字 ■ 均衡 ■ 赤字

### 国・地域別



- 2009年の営業利益見込みについて、「黒字」と回答した企業の割合は57.6%。
- 国・地域別にみると、台湾(74.5%)、香港(68.7%)、韓国(67.9%)で「黒字」と回答した企業の割合が約7割と高い。
- 設立年別にみると、設立年が早いほど黒字企業の割合が高い傾向。
- 黒字と回答した企業の割合が高い台湾、香港、韓国は企業の進出時期が相対的に早く、初期投資を回収し黒字化が進んでいる企業が多いことが背景にあるとみられる。

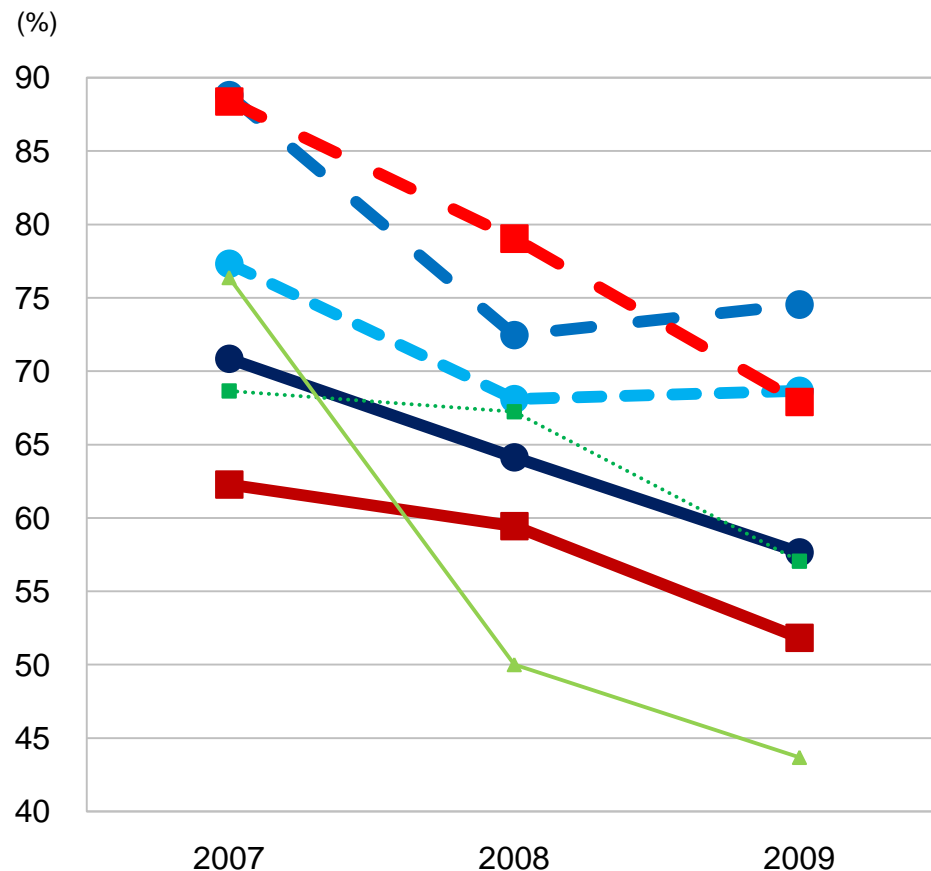
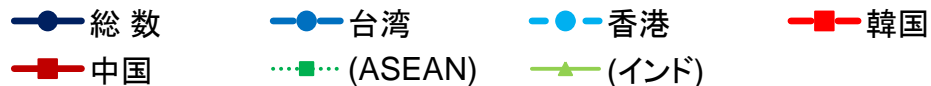
### 設立年別



# 1. 営業利益(2)

## 黒字企業の割合の推移

### 国・地域別



- 時系列で見ると、「黒字」と回答した企業の割合は、07年の70.8%、08年の64.1%から減少している。
- 台湾、香港は、09年に「黒字」と回答した企業の割合が微増。他方、韓国、中国は2年続けて「黒字」と回答した企業の割合が低下。

(%)

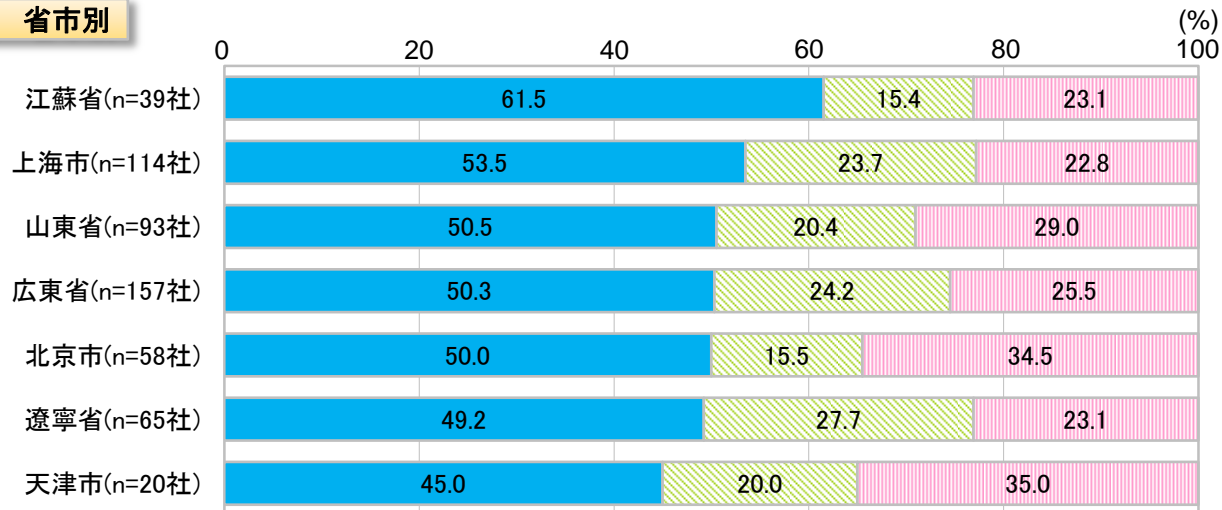
	2007	2008	2009
総数	70.8	64.1	57.6
台湾	88.8	72.4	74.5
香港	77.3	68.1	68.7
韓国	88.4	79.0	67.9
中国	62.3	59.4	51.8
(ASEAN)	68.7	67.2	57.1
(インド)	76.4	50.0	43.7

# 1. 営業利益(3)

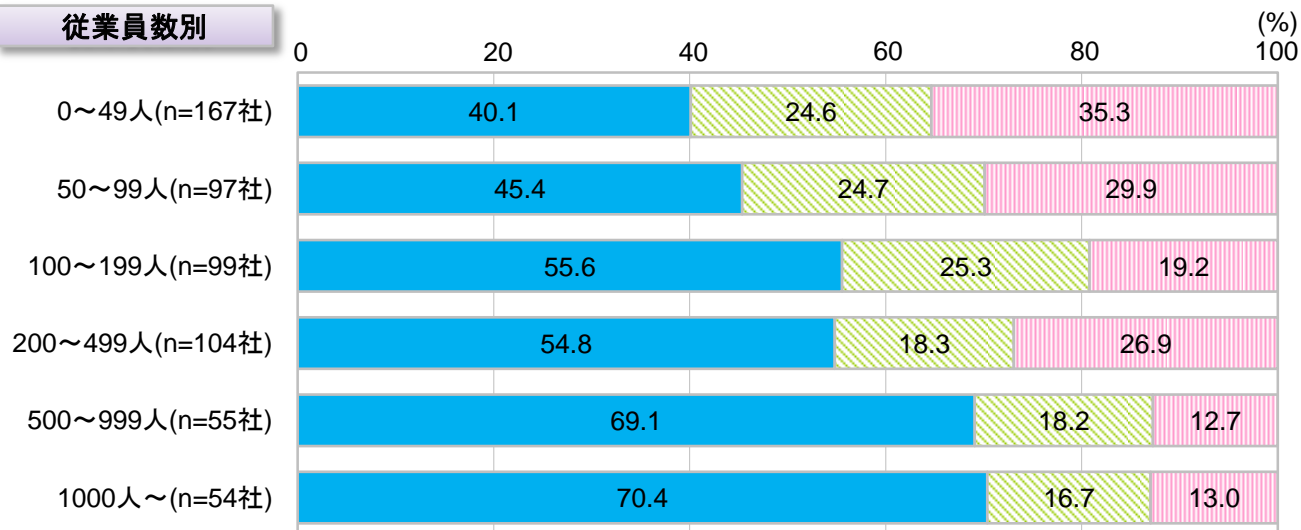
## 09年営業利益見通し(中国 所在省市別、従業員規模別)

■ 黒字 ■ 均衡 ■ 赤字

### 中国 省市別



### 従業員数別



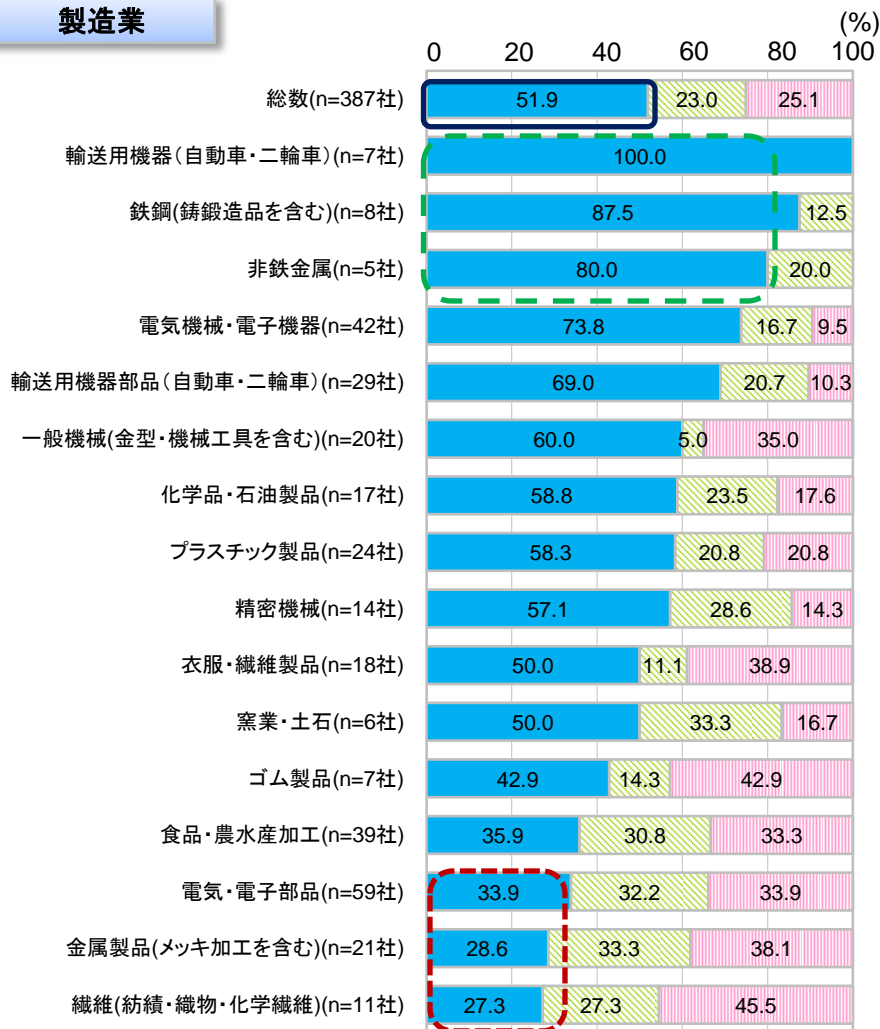
- 中国について、2009年の営業利益見込みを「黒字」と回答した企業の割合を省市別にみると、江蘇省では、精密機械、電気・電子部品が黒字企業の割合を引き上げ、61.5%と比較的高い結果となった。
- 従業員規模別にみると、規模が大きいほど黒字企業の割合が高まる傾向がみられた。従業員規模と企業の設立年の関係を見ると、従業員の規模が大きいほど、設立年が古い企業が多いことから、従業員規模が大きな企業には、設立年が早く、初期投資を回収し、黒字化が進んでいる企業が多いことが推察される。

# 1. 営業利益(4)

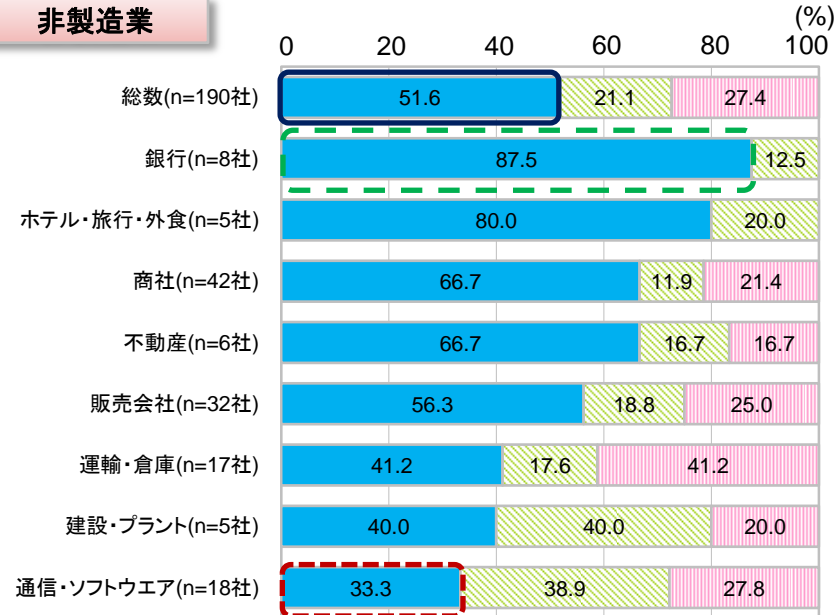
## 09年営業利益見通し(中国 業種別)

■ 黒字 ■ 均衡 ■ 赤字

### 製造業



### 非製造業



- 業種別にみると、黒字と回答した企業の割合は、製造業(51.9%)と非製造業(51.6%)に顕著な差はない。
- 有効回答5社以上の業種で黒字企業の割合が高いのは、製造業では輸送用機器(自動車・二輪車)(100%)、鉄鋼(鑄鍛造品を含む)(87.5%)、非鉄金属(80.0%)、非製造業では銀行(87.5%)、ホテル・旅行・外食(80.0%)。
- 黒字企業の割合が低いのは、製造業では繊維(紡績・織物・化学繊維)(27.3%)、金属製品(メッキ加工を含む)(28.6%)、電気・電子部品(33.9%)、非製造業では通信・ソフトウェア(33.3%)。

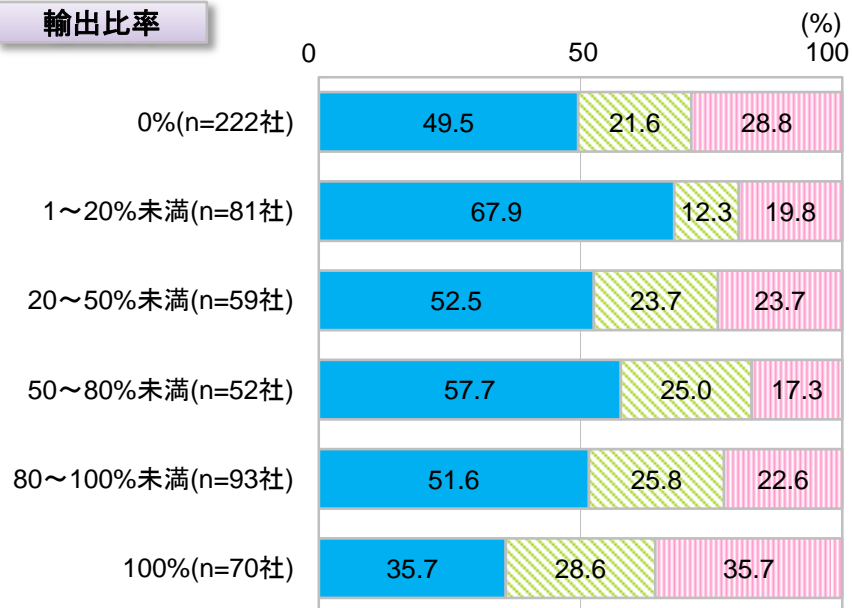
(注)有効回答5社以上の業種のみ掲載。

# 1. 営業利益(5)

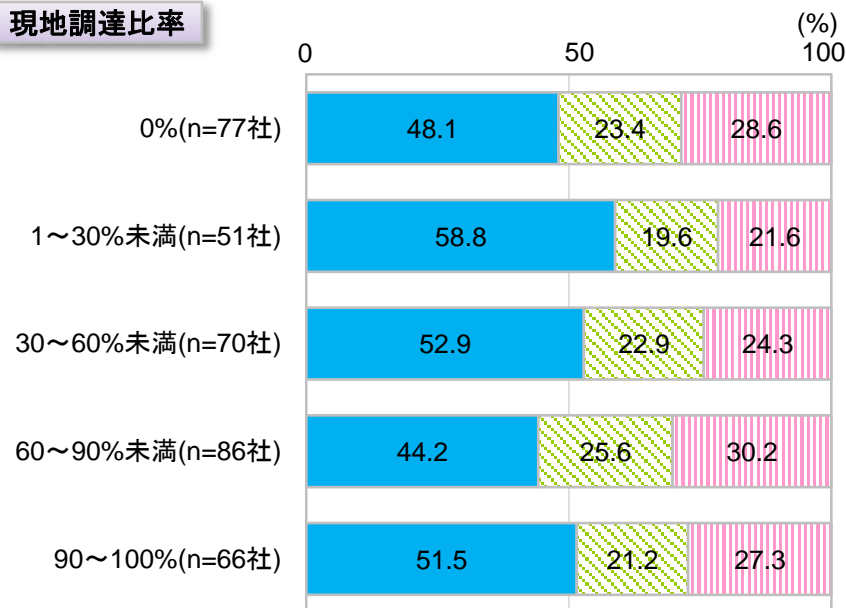
## 09年営業利益見通し(中国 輸出比率別、現地調達比率別、現地化状況別)

■ 黒字 ■ 均衡 ■ 赤字

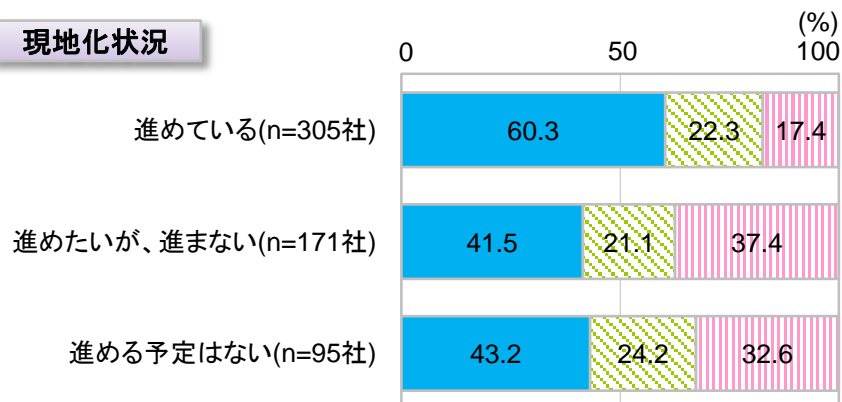
### 輸出比率



### 現地調達比率



### 現地化状況



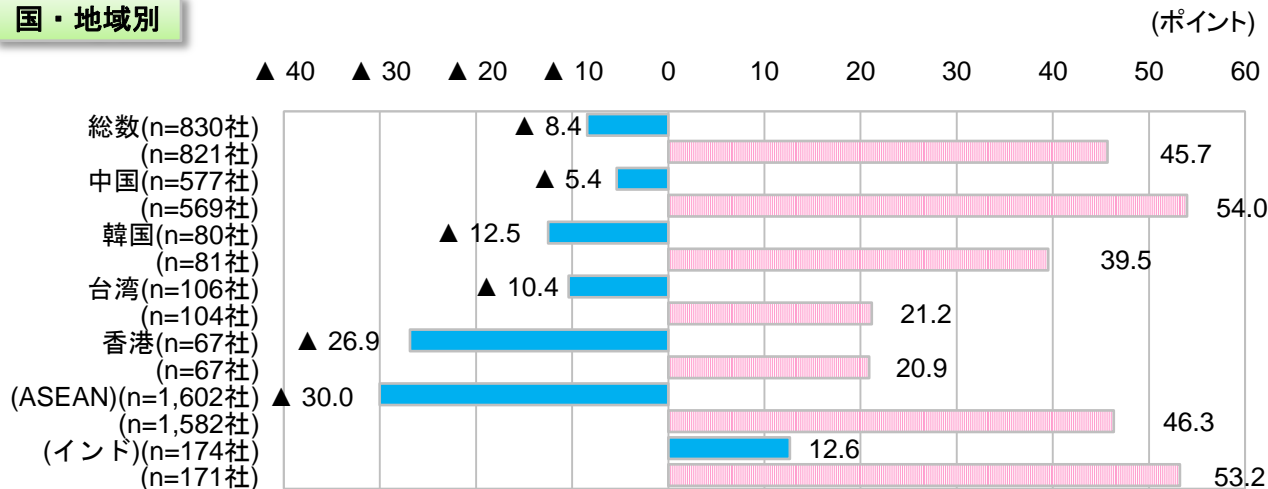
- 輸出比率別に営業利益見通しをみると、輸出比率が高いと黒字企業の割合も低くなる傾向。
- 現地調達率は、営業損益との明確な関係性はみられなかった。
- 現地化の状況別に黒字企業の割合をみたところ、「現地化を進めている」(60.3%)が、「現地化を進めたいが、進まない」(41.5%)および「現地化を進める予定はない」(43.2%)企業と比較して、高い結果となった。

# 1. 営業利益(6)

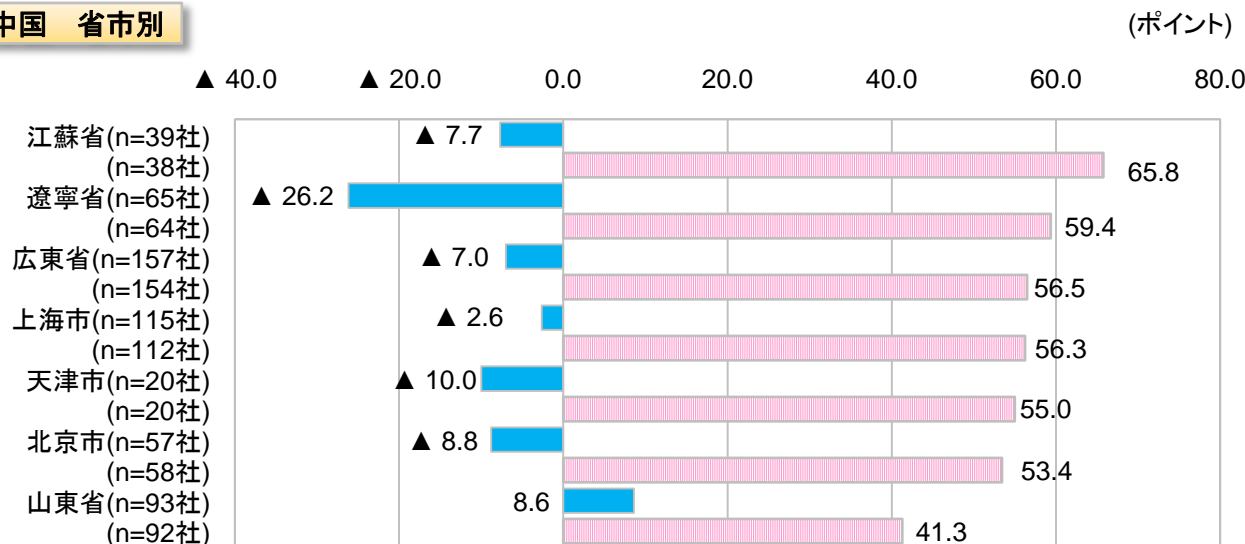
## DI値で見た09年、10年営業利益見通し

■ 09年  
■ 10年

### 国・地域別



### 中国 省市別



- 営業利益見込みについて景況感を示すDI値で見ると、09年は北東アジアの4カ国・地域いずれも08年より「悪化」する企業の割合が、「改善」を上回った(DI値がマイナス)。
- 10年の見通しは、大幅な改善傾向がみられる。特に、中国(DI値54.0ポイント、「改善」61.2%、「悪化」7.2%)、韓国(DI値39.5ポイント、「改善」54.3%、「悪化」14.8%)と景況感は明るい。
- 中国の省市別では、09年、遼寧省(-26.2ポイント)で悪化と回答した企業の割合が高かった。10年は江蘇省(65.8ポイント)を筆頭に各省市、高いDI値を示している。

(注) DI値とはDiffusion Indexの略で、「改善」と回答した企業の割合から、「悪化」と回答した企業の割合を差し引いた値。景況感を表す指標として用いられる。

# 1. 営業利益(7)

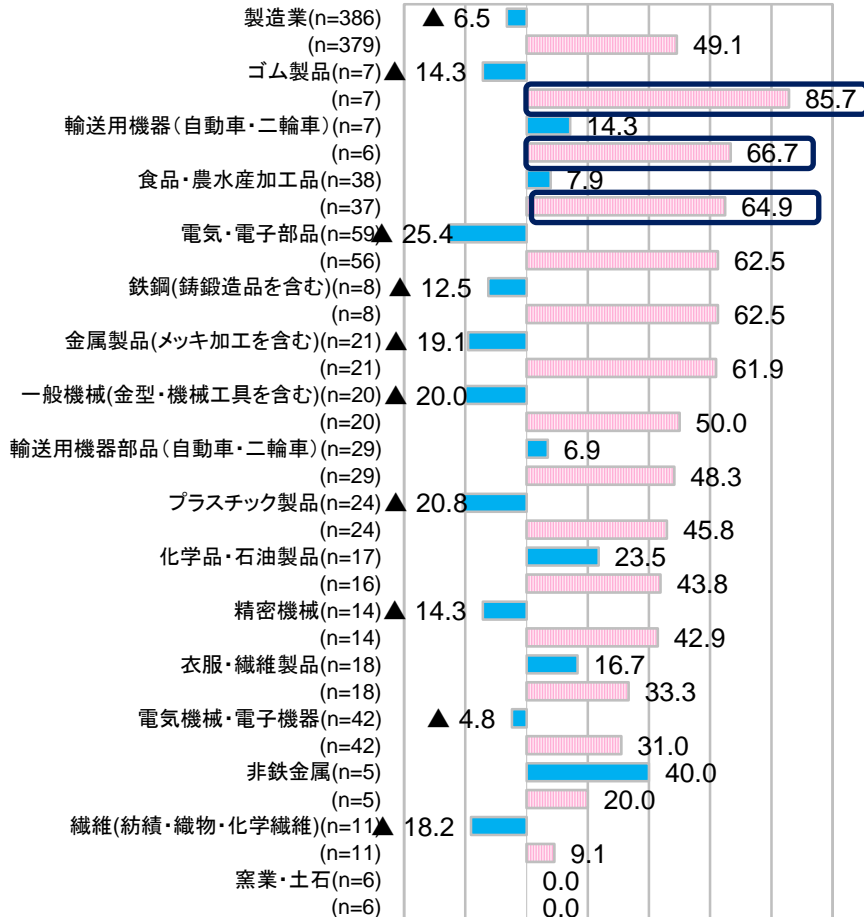
## DI値で見た09年、10年営業利益見通し(中国 業種別)

■ 09年  
■ 10年

### 製造業

(ポイント)

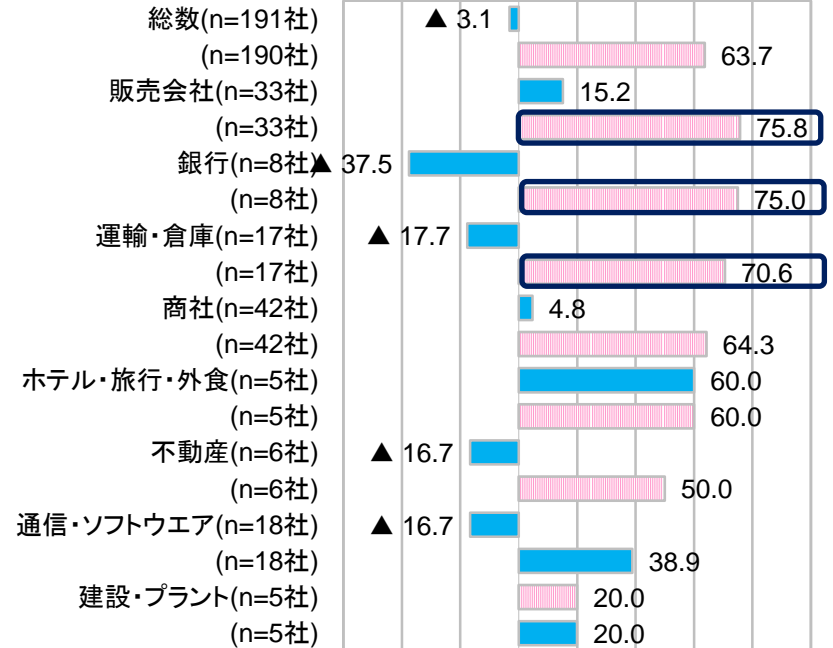
▲ 40 ▲ 20 0 20 40 60 80 100



### 非製造業

(ポイント)

▲ 60 ▲ 40 ▲ 20 0 20 40 60 80 100



- 中国について業種別にDI値をみると、10年の見通しは非製造業(63.7ポイント)が製造業(49.1ポイント)を上回る。
- 有効回答5社以上の業種で10年のDI値が高いのは、製造業ではゴム製品(85.7ポイント)、輸送用機器(自動車・二輪車)(66.7ポイント)、食品・農水産加工品(64.9ポイント)、非製造業では販売会社(75.8ポイント)、銀行(75.0ポイント)となっている。

(注)有効回答5社以上の業種のみ掲載。

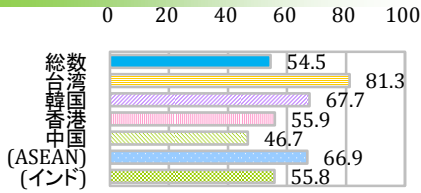
# 1. 営業利益(8)

## 09年の営業利益が悪化する理由 (複数回答、上位5項目)

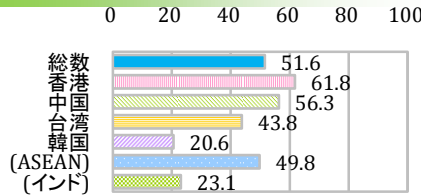
### 国・地域別

(%)

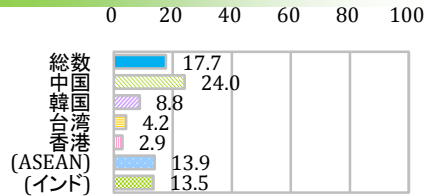
#### 現地市場での売上減少



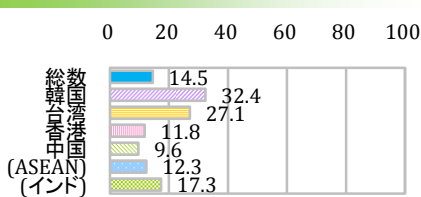
#### 輸出低迷による売上減少



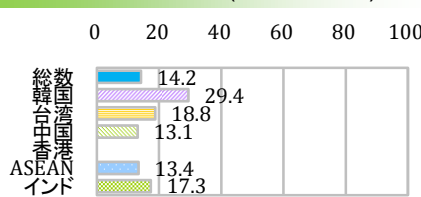
#### 人件費の増加



#### 為替変動による売上減少



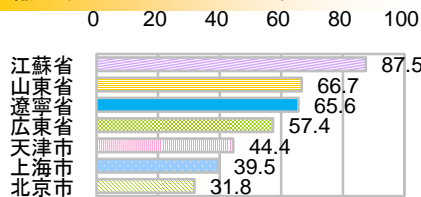
#### 調達コストの増加(製造業のみ)



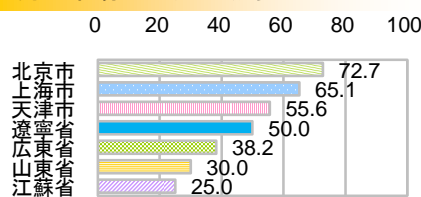
### 中国 省市別

(%)

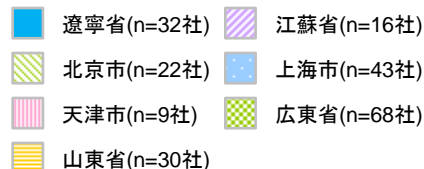
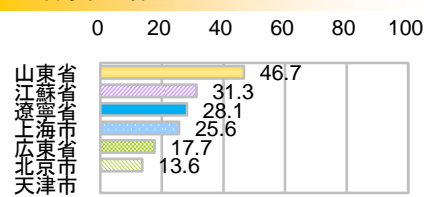
#### 輸出低迷による売上減少



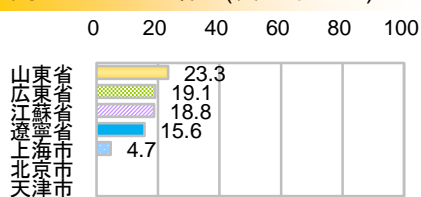
#### 現地市場での売上減少



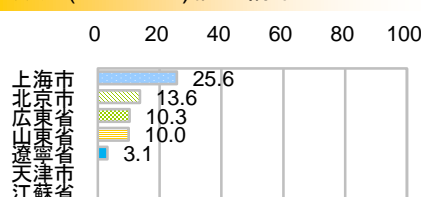
#### 人件費の増加



#### 調達コストの増加(製造業のみ)



#### 販売(サービス)網の構築が進まない



- 09年の営業利益が「悪化」として回答した企業にその理由を複数回答で尋ねたところ、「現地市場での売上減少」(54.5%)、「輸出低迷による売上減少」(51.6%)が上位2項目として挙げられた。
- 中国では、「輸出低迷による売上減少」(56.3%)が最も多い。省市別には、江蘇省、山東省、遼寧省で「輸出低迷による売上減少」を挙げる企業が多い。他方、北京市、上海市は「現地市場での売上減少」を挙げる企業が多い。



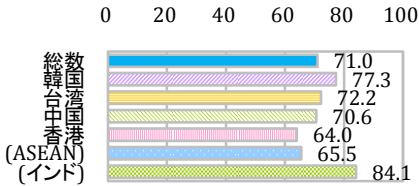
# 1. 営業利益(9)

## 10年の営業利益が改善する理由 (複数回答、上位5項目)

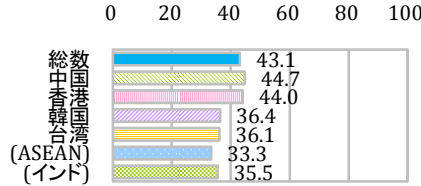
### 国・地域別

(%)

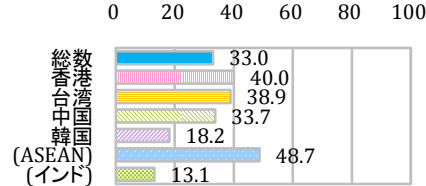
#### 現地市場での売上増加



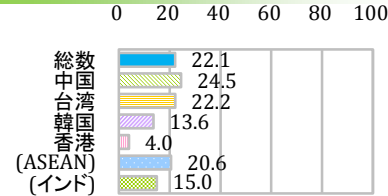
#### 新規製品／サービス開拓による売上増加



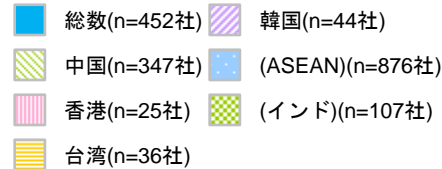
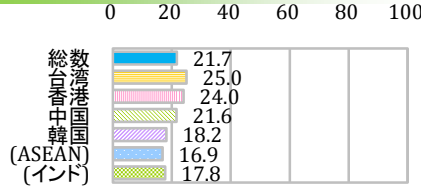
#### 輸出拡大による売上増加



#### 生産効率の改善(製造業のみ)



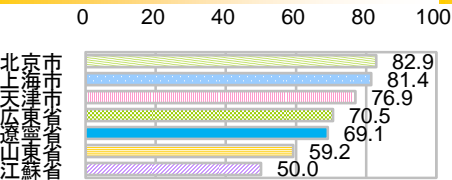
#### その他支出の削減(コスト競争力の向上)



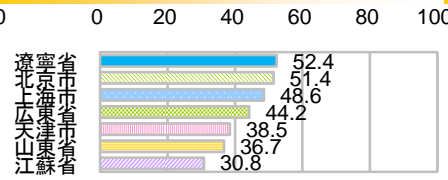
### 中国 省市別

(%)

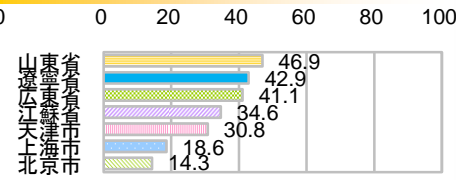
#### 現地市場での売上増加



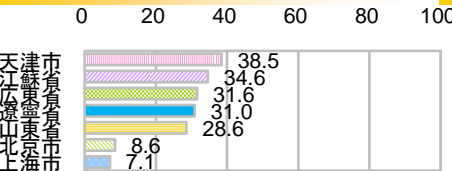
#### 新規製品／サービス開拓による売上増加



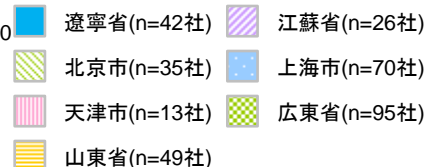
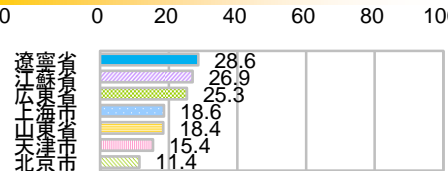
#### 輸出拡大による売上増加



#### 生産効率の改善(製造業のみ)



#### その他支出の削減(コスト競争力の向上)



- 10年の営業利益が「改善」として回答した企業にその理由を複数回答で尋ねた結果では、「現地市場での売上増加」が7割に上り、「新規製品／サービス開拓による売上増加」、「輸出拡大による売上増加」が続く。
- 中国では、いずれの省・市も「現地市場での売上増加」を挙げる企業の割合が最も高く、国内販売が営業利益を牽引する傾向がうかがえる。